

断熱材で採択

デ コ ス
CFP 関連の試行事業で

木質繊維系断熱材を製造・販売するデコス(山口県下関市、安成信次社長)の、新聞紙を主原料とする断熱材「デコスファイバー」が、経済産業省、環境省、農林水産省、国土交通省の4省が連携する試行事業「カーボンフットプリント(CFP)

ン・オフセットを実施した製品であることを認証するための手続きやルールを検証する。住宅・建材業界からはデコスのみが採択されており、同社のほか7社が試行事業に参加。事業実施期間は3月29日まで。

同製品は、建築用断熱材で初めてCFP制度の認定を取得した。主原料にリサイクル材の新聞紙を使用し、生産工場の動

カエネルギーはすべて電力を使用している。輸送手段に鉄道を活用するなど、LCCO₂排出量削減に取り組んでいる。同製品1袋あたりのCFP算定結果は、11・9^キ。

同製品のカーボン・オフセットに使用するクレジットは、親会社の安成工務店の取引先で、林業を営むトライ・ウッド(大分県日田市)による間伐推進プロジェクトから創出されるJ・V・E・Rクレジットを利用する予定とした。